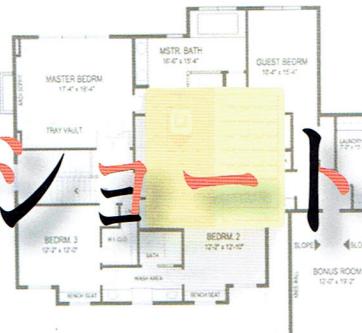


建築士 本山千絵の

マンション建物ショートショート



マンションの階段とエントランス入口の関係に注目！

マンションのように、多くの人が生活する建物は安全性についてたくさんの法律、規定があります。その中でも「避難」に関して、設計者は特に気を使うところです。階段から道路まで安全に避難ができるよう、建物の規模によって通路の幅などが決められています。敷地が狭小の場合、避難通路が長くなると建物が小さくなってしまいます。そこで階段から直接道路に出られる計画にすることが良くあります。「避難」という視点でマンションの階段と道路の関係を見てみると設計者の工夫が見えてくるかもしれません。安全を考えて計画された「避難経路」に自転車や三輪車を置くことはくれぐれもやめていただきたいですね。

外なのに建物の一部…？

建築基準法では、敷地に対して建てられる建物の大きさが決められています。面積は屋内部分をカウントすると思う方も多いと思いますが、屋外でも屋根がかかっていて、その下に「用途」が発生すると面積にカウントされます。たとえば、マンションの2階バルコニー下を駐輪場にすると、そこは「駐輪場」として面積にカウントされます。「外なのに？」とちょっと意外に思うかもしれません、法律では屋根があって用途が発生すると「建物の一部」という解釈なのです。ただし、駐車場・駐輪場は建物全体の面積の1/5まで緩和措置があります。

本山千絵（もとやま ちえ）

一級建築士／インテリアコーディネーター／3級FP技能士



1968年生まれ

1987年

建築構造設計事務所に入社

1995年

子育てしながら二級建築士取得

2000年

有限会社デ・アルテ アルテ建築設計事務所入社

2008年

一級建築士取得

2010年より

総合資格学院の一級建築士製図試験対策講座の講師としても活動

2012年

有限会社ライヴサポートを経て、現在独立し Mot Design 一級建築士事務所代表



所属団体等

一般社団法人 埼玉建築士会

一般社団法人 マンション管理員検定協会 理事
<http://www.m-kanken.or.jp/>

一般社団法人 シングルマザー支援協会 理事
<http://xn--qckmb1noc2bzdv147ah7h.com/>

普通高校卒業後、建築設計業界に飛び込み、以降実務経験を重ね資格取得。最初に務めた会社が構造専門の事務所だったため、構造設計の実務経験もあり。二人の子供を育てながら、その後、意匠設計に転職。マンションの設計・監理を多く手がける。育児経験から保育園の設計も得意とする。